

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成26年1月9日(2014.1.9)

【公開番号】特開2013-148596(P2013-148596A)

【公開日】平成25年8月1日(2013.8.1)

【年通号数】公開・登録公報2013-041

【出願番号】特願2013-95670(P2013-95670)

【国際特許分類】

G 01 N 27/62 (2006.01)

【F I】

G 01 N 27/62 V

【手続補正書】

【提出日】平成25年11月15日(2013.11.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

質量分析法において用いるために好適な基体を調製するための方法であつて、付加物低減添加剤を含むマトリックス材料を該基体上に堆積させるステップを含み、該付加物低減添加剤はアスコルビン酸またはその塩、互変異性体もしくは類似体を含む、方法。

【請求項2】

前記基体を密封するステップをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

酸化を最小限にするために薬剤またはガスによって前記基体を処理するステップをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記基体はシリカを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記付加物低減添加剤はシュウ酸アンモニウムをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

前記マトリックス材料は3-ヒドロキシピコリン酸(3-HPA)を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項7】

前記マトリックス材料はクエン酸ジアンモニウム(DAC)を含む、請求項1に記載の方法。

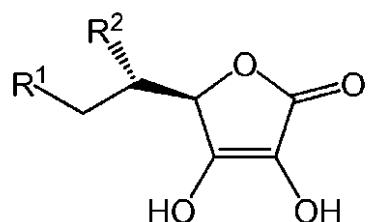
【請求項8】

前記付加物低減添加剤はアスコルビン酸を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項9】

前記アスコルビン酸の類似体が、次の式:

【化1】



に従い、ここで：

R^1 および R^2 は独立に OH、ハロゲン、 R^3 、 OR^3 、アジド、シアノ、CH₂R³、CH₂HR³R⁴、SR³、NR³R⁴ であり；

R^3 および R^4 は独立に H、アルキル、アセチレンもしくはシアノ、または任意に置換されたアリール炭素環式環、アリール複素環、非アリール炭素環式環もしくは非アリール複素環である、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

前記マトリックス材料が、5 mMから50 mMのアスコルビン酸またはその塩、互変異性体もしくは類似体を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 11】

前記マトリックス材料が、5 mMから50 mMのアスコルビン酸を含む、請求項 1 に記載の方法。